

「安全の確保とカーボンニュートラル社会への貢献」



一般財団法人 日本ガス機器検査協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-4-10 JIAビル
電話 03-5570-5981 <https://www.jia-page.or.jp>



専務理事 岸野 寛

■日本ガス機器検査協会(JIA)は「燃焼機器のうちガス機器類の検査を実施し、その品質・性能の向上と安全の確保をはかり、もってガス機器の生産、流通及び消費の増進に寄与すること」を目的に、1967年に財団法人として設立され、以来、半世紀以上にわたりガスの安全を支える公正・中立な第三者機関として活動を続けております。2011年4月には公益法人制度改革に伴い一般財団法人へと移行しました。

現在の当協会の事業は、大きく分けて「検査認証事業」「教育講習・試験事業」「マネジメントシステム認証及び検証等事業」を柱にしております。

設立当初からの主軸である検査認証事業においては、ガス事業法や液石法等の法律に基づく適合性検査に加え、ガス機器製造事業者との契約に基づくJIA認証業務を行っています。その対象は、家庭用・業務用の給湯器やこんろから、衣類乾燥機、燃料電池、カートリッジガスこんろ等まで多岐にわたります。また、2000年からはガス事業法に基づく「ガス工作物検査機関」として、都市ガスの製造所やガスホルダー、導管などの供給インフラの使用前検査も行っています。

教育講習・試験事業においては、1979年に特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律に基づく講習機関に指定されて以来、民間資格であるガス機器設置スペシャリスト(GSS)の育成、ガス主任技術者試験の運営、さらには「ガス機器の設置基準及び実務指針(通称：黒本)」の出版などを通じ、保安人材の育成に努めております。

マネジメントシステム認証及び検証等事業では、1994年にISO9001(品質)の審査サービスを開始して以降、ISO14001(環境)、IATF16949(自動車)やFSSC 22000(食品安全)など、専門性を要する分野でも多くの実績を積み重ねてまいりました。

■昨今、製品安全への意識やガス業界を取り巻く環境は急速に変化しております。こうした中、検査認証事業では、2025年に新たに適合性検査品目に追加された携帯液化石油ガス用バーナー(いわゆるガストーチ)の検査を開始しました。近年はガス機器分野のみならず、電気・EMC試験や系統連系試験、森林認証制度にも注力しております。さらに、カーボンニュートラル社会への貢献を目指し、2024年度からは合成メタン(e-methane)やバイオガスの環境価値の移転を可能にする「クリーンガス証書制度」に参画したほか、LPガス業界の脱炭素化に向けた具体的な取り組みとして、rDME混合LPガスがガス機器の燃焼に与える影響評価業務を受託しました。

教育講習・試験事業においても、2024年より初級者向けの実技講習を新設し、工具等の扱いに不慣れた若手や異業種からの参入者を対象に保安人材の育成に貢献しております。

あわせて、マネジメントシステム認証事業に関しては、内部監査員養成や規格解説セミナーのオンライン開催も進め、多様化するニーズに即した支援体制を整えております。

■今後も当協会は、公正・中立な第三者認証機関としての社会的責任を全うしつつ、業界を取り巻く新たな課題への挑戦を継続してまいります。三つの事業の柱をより強固なものとし、提供するサービスの一層の向上に努め、皆さまの信頼に応えられるよう尽力してまいります。



全体研修



入居ビル外観(本部ビル)